

令和 7 年 1 0 月 8 日 インフルエンザ予防接種において、使用済み注射器を別の被接種者に刺した事案が発生しましたので、お知らせします。

- 1 判明日 令和 7 年 1 0 月 8 日（水）
- 2 被接種者 合志市在住の 76 歳男性
- 3 経緯 10 月 8 日、医師による予診後、接種場所へ移動。看護師が接種する際、前の人に使用したシリンジ（注射器）を廃棄せずトレイに戻した。

当該被接種者に刺した際、ワクチン液が入っていないことに気づき、使用済みシリンジ（注射器）であることがわかった。本人に説明し、感染症の有無を調べるため、血液検査を実施した。医師が被接種者の体調を確認し、約 40 分後に帰宅した。
- 4 対応 市は、同日医療機関からの報告を受け、接種状況及び今後の被接種者へ体調確認についての対応について聞き取りを行った。被接種者の体調については、血液検査の結果、感染症は確認されず、体調に変化がないことを確認している。
- 5 今後の対策 今後このような事案が発生しないよう、医療機関に対する個別指導を徹底し、過誤防止に努める。